



福中だより

☆☆☆教育目標☆☆☆ 希望 創造 潤い

昭島市立福島中学校

令和8年5月7日 NO. 2

042-541-2940

創立47年目(昭和55年開校)

打ち込むことの大切さ



校長 前川 法彦

5月になりました。今月は、23日に福島中での大きな行事のひとつである体育祭が実施予定です。運動が得意な人も苦手な人も協力し合いながら、仲間と共にひとつのものをつくりあげる経験を得られるチャンスです。思いやり・協力・お互いを尊重する気持ちを大切にして取り組み、力を出し切ってほしいと思います。

昔、プロ野球選手でオリンピックにも出場した宮本慎也さんという方がいました。プロになる前の大学で、監督から「相手のことを考えてプレーしなさい」という教えを受けて、守備ではゴロを待っているのではなく一歩踏み出して捕球してプレッシャーをかけるなど、相手のことを考えるプレーを心がけ守備力を高めました。また、バッティングは、いいときもあれば、悪いときもあるため、気持ちに違いはあっても、技術を上げてヒットになる確率を高めるための練習を続けたそうです。

その中で、悪いときのことを考えて、そうならないための練習をしたり、対策を立てたりしました。他人のせいにしたり、自分でコントロールできないことに落ち込んだりするのではなく、自分ができることを、手を抜かずにやるのが大切だと考えたそうです。宮本選手は、「マイナスに考えてしまっても大丈夫。むしろマイナスに考えるからこそ、また不安に考えるからこそ、基本的なことをコツコツと積み重ねて、2000本安打、400犠打という結果を達成できた」と語っていました。

福中生の皆さんは、毎日の生活の中で、勉強・行事・委員会・部活動など、様々な挑戦をしながら経験を重ねています。粘り強く努力を継続して、強い土台がある力を付けながら、揺るぎない自信がもてるようになってほしいと思います。



5月1日(金)に、引き渡し訓練を実施しました。ご多用の中、保護者の皆様におかれましてはご協力感謝申し上げます。また、5月23日(土)には体育祭を予定しています。クラス活動、縦割りの活動、係会や実行委員会も始まります。協力や支え合いを通して、積極的に活動してほしいと考えております。ぜひ生徒たちの姿をご覧ください。いただければ幸いです。